令和４年度　　横浜市指定番号　第6号 ・ 第9号

# 認知症介護実践研修
## （実践者研修・実践リーダー研修）

≪　会場　≫　ウィリング横浜
（京急線・市営地下鉄「上大岡駅」より徒歩３分）

かなふく研修
総合サイト

## １．認知症介護実践者研修

認知症の進行を遅らせ、行動・心理症状(BPSD)を予防できるよう、適切な認知症介護を提供するための理念や知識・技術を習得する研修です。

**«受講要件»介護事業所に所属し、以下の要件すべてに該当する方となります。**

**①　原則として身体介護に関する基本的知識・技術を習得している者**
**②　概ね実務経験２年以上の者**
**③ 認知症介護基礎研修を修了した者あるいは同等の能力を有している者。**

**※認知症介護基礎研修を修了していない場合には、事前に同等の知識・能力確認テストを行います。**

**［１回目］　（講義・演習５日間＋職場実習４週間と報告書作成）**
日　程：４月１４日（木）、１９日（火）、２８日（木）、５月６日（金）、６月２０日（月）

**［２回目］　（講義・演習５日間＋職場実習４週間と報告書作成）**
日　程：６月２７日（月）、７月１５日（金）、２５日（月）、８月８日（月）、９月１６日（金）

**［３回目］　（講義・演習５日間＋職場実習４週間と報告書作成）**
日　程：９月２日（金）、１３日（火）、１０月１２日（水）、２１日（金）、１１月２５日（金）

**≪受講費用≫　会　員：３６，３００円（消費税込）一　般：４６，８００円（消費税込）**

※会員とは、（公社）かながわ福祉サービス振興会の正会員・賛助会員の法人に所属する方をいいます

※①「認知症介護実践リーダー研修」②「認知症対応型サービス事業管理者研修」③「小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修」の受講要件となる研修です。
※職場実習は、所属事業所内で認知症と診断された利用者の方を対象としたケアを４週間実践し、実習報告書の作成を行います。

## ２．認知症介護実践リーダー研修

適切な認知症介護を提供できるようケアチームを構築するための、さまざまな知識・技術を習得する研修です。

**≪受講要件≫　介護事業所に所属し、以下の要件すべてに該当する方となります。**

**①介護業務におおむね５年以上従事した経験がある者**
**②ケアチームのリーダーまたはリーダーになることが予定されている者**
**③認知症介護実践者研修を修了し１年以上経過している者**

**［１回目］　（講義・演習６日間＋職場実習2か月間と報告書作成）**
日　程：５月１３日（金）、２０日（金）、２６日（木）、６月７日（火）、６月１３日（月）、８月１６日（火）

**［２回目］　（講義・演習６日間＋職場実習2か月間と報告書作成）**
日　程：１１月８日（火）、１８日（金）、１２月２日（金）、１６日（金）、１２月２３日（金）３月第３週目

第1回
実践リーダー研修

**≪受講費用≫　会　員：５３，４００円（消費税込）一　般：６５，５００円（消費税込）**

※会員とは、（公社）かながわ福祉サービス振興会の正会員・賛助会員の法人に所属する方をいいます

# ● 認知症介護実践者研修カリキュラム ●

| 日程 | 科目名 | 日程 | 科目名 |
|---|---|---|---|
| 1日目 | 認知症ケアの理念<br>倫理と意思決定支援 | 3日目 | 学習成果の実践展開と共有 |
| | QOLを高める活動と評価の観点 | | 生活支援のためのケアの演習2<br>（行動・心理症状） |
| | 家族介護者の理解と支援方法 | | アセスメントとケアの実践の基本 |
| | 権利擁護の視点に基づく支援 | 4日目 | アセスメントとケアの実践の基本 |
| 2日目 | 地域資源の理解とケアへの活用 | | 職場実習の課題設定 |
| | 生活支援のためのケアの演習1 | 職場実習4週間 | |
| （インターバル期間） | | 5日目 | 報告会 |

新カリキュラムにより研修日が7日→5日に短縮

第1回 実践者研修

第２回 実践者研修

第3回 実践者研修

# ● 認知症介護実践リーダー研修カリキュラム ●

| 日程 | 科目名 | 日程 | 科目名 |
|---|---|---|---|
| 1日目 | 認知症介護実践リーダー研修の理解 | 4日目 | 職場内教育（OJT）の方法の理解 |
| | 認知症の専門的理解 | | 職場内教育（OJT）の実践 |
| | 施策の動向と地域展開 | 5日目 | 職場内教育（OJT）の実践 |
| 2日目 | チームケアを構築するリーダーの役割 | | 職場実習の課題設定 |
| | ケアカンファレンスの技法と実践 | 職場実習2ヶ月間 | |
| | ストレスマネジメントの理論と方法 | 6日目 | 報告会 |
| 3日目 | 認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法 | | |
| | 職場内教育の基本視点 | | |

新カリキュラムにより研修日が10日→6日に短縮

第1回 実践リーダー研修

## ● 研　修　講　師 ●

講師は「横浜市認知症介護指導者」をはじめとした各分野の最前線で活躍中の講師が登壇します。

※講師・科目時間等の詳細は調整中ですので、変更をする場合もあります。
※感染対策等を配慮し、状況によりオンライン開催になる場合もあります。

令和４年度

# ● 認知症介護実践研修の位置づけ ●

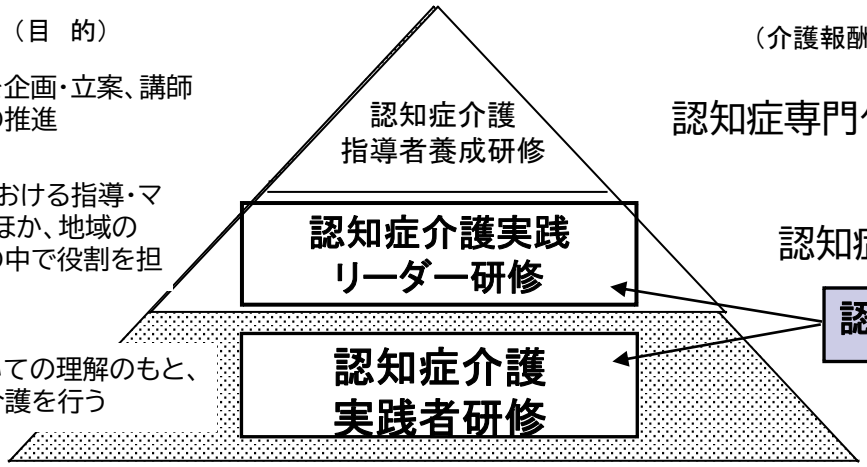
（公社）かながわ福祉サービス振興会　http://www.kanafuku.jp/

（目　的）

実践者研修を企画・立案、講師
認知症施策の推進

チアチームにおける指導・マネジメントのほか、地域の認知症施策の中で役割を担う

認知症についての理解のもと、本人主体の介護を行う




（介護報酬加算）

認知症専門ケア加算Ⅱ

認知症専門ケア加算Ⅰ

認知症介護実践研修

認知症加算
（通所介護）

ケアの質の向上に向けたベースアップ

## 認知症介護基礎研修

**横浜市では、下記リンク先から、認知症介護基礎研修の受講手続きができます。**
認知症介護基礎研修eラーニングシステム
（認知症介護研究・研修仙台センター）
（https://dcnet.marutto.biz/e-learning/）

## ○修了証明書

この研修は、横浜市長の指定を受けて開催するもので、修了者は、横浜市が実施する研修を修了したものと同等の取り扱いとなります。修了証明書の有効性につきましては、予め所属する事業所が所在する自治体にご確認のうえ、お申込下さい。
修了証明書につきましては、全科目を受講し、実習でのレポート等、ご提出いただいた報告書の内容等を確認の上発行いたします。不備や不足のある場合は修了証明書が発行できない場合もあります。
職場実習は４週間を予定しております。お申込みいただいた受講生ご自身の職場が実習先となります。職場の代表者の方の研修参加同意が必要となります。

## ○申し込み

かなふく研修総合サイト　⇒　https://www.kanafuku.jp/plaza/

① かなふく研修総合サイトからWEB申し込みをお願いします。
② WEB申込後、その場で受付完了メールが届きます。
③ 受講料を受付完了メールに記載された指定口座にお振込みください。
（入金締め切り日は、研修開始日の１４日前程度）
※研修開始日の１０日営業日より後にキャンセルした場合、受講料の返金はできません。
④ 事前の提出書類は、受付完了メール内に記載されたものをご郵送ください
⑤ 認知症介護基礎研修の修了が確認できない場合には、知識・能力確認テストを行います。
（研修開始日までに認知症介護基礎研修修了者と同等の知識・能力があることを確認します）

■注意事項
・指定期日までに受講料をお振込みください。振込受領書をもって領収書と致します。
・職場実習もありますので、受講申込前に、所属事業所から研修を受講することの承諾を得てください。
・連絡先は、必ず所属事業所にしてください。

※最少催行人数が集まらない場合には、中止となることもございますので、ご了承下さい。

## ○問い合わせ


（公社）かながわ福祉サービス振興会
〒231-0023
横浜市中区山下町23番地　日土地山下町ビル9階
TEL:045-210-0788（直通）　FAX:045-671-0295
担当課：
ホームページ　http://www.kanafuku.jp/
（受付時間　9:00～17:00　土日祝祭日休み）


【法人概要】 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会は、平成9年3月に設立され、県・市町村・民間企業、NPO及び関係団体を構成員とする社団法人です。その理念は、介護・福祉サービスの振興と質の向上です。今後の少子高齢化に向けて、高齢者等が自分らしい生活を地域で継続できるよう、様々なサービスや商品の開発支援も視野に入れて活動しています。【主な事業】 情報事業・広報事業・評価事業・研修事業・調査研究事業・県指定情報公表センター事業・県指定調査機関